

長野市下水道ビジョン・下水道事業経営戦略（素案） 主な改訂内容

新ビジョン（素案）

第3章 将来像と方針

2 課題の整理

	強 み	弱 み
	内部環境	外部環境
	④ φ600以上の管路の健全度が高い（汚水） ⑤ 個別計画等により対策が進行中である ⑥ ICTの活用による遠隔施設の管理 ⑦ 市民通報等により浸水個所の把握済み ⑧ 職員の専門性が高く、緊急時の直営対応が可能 ⑨ 下水道BCPに基づく定期的な訓練を実施している ⑩ 管路維持管理業者との連携が強い ⑪ 先行する水道事業広域化協議の知見を活用できる ⑫ 単独処理場を有し、見学や視察の受け入れが可能	① 施設規模が膨大で状態が把握しきれていない ② GISの施設情報が不足 ③ 施設数が多く、維持管理負担が大きい ④ 改築需要の増加 ⑤ 計画区域内で整備が見込めないエリアがある ⑥ 市民ニーズの把握ができていない ⑦ 環境負荷の低減対策が進んでいない ⑧ 内水ハザードマップの策定公表が一部排水区のみ ⑨ 老朽家屋所有者・経済的困窮者・高齢者世帯等の水洗化が進まない ⑩ 経費回収率が100%を下回る見込み ⑪ ベテラン職員の退職に対し、技術継承が不十分 ⑫ 現有システム機能の未活用 ⑬ 浄化槽制度に課題が多い
	機 会	脅 威
	① 国の推進施策である ② 新技術の開発が進んでいる ③ ゲリラ豪雨被害に対する地域住民の防災意識の向上 ④ 外部機関との連携 ⑤ SNS等情報発信手段の普及	① 災害の頻発化・激甚化 ② 少子高齢化、人口減少の影響 ③ 物価の高騰 ④ 全国的な老朽化事故の増加による市民不安の増 ⑤ 下水道事業に関する市民の関心・理解の低下

長野市下水道ビジョン・下水道事業経営戦略（素案） 主な改訂内容

2

新ビジョン（素案）

第3章 将来像と方針

3 クロス分析

	強 み	弱 み
	I 積極的戦略（強み×機会）	II 段階的戦略（弱み×機会）
機 会	污水管路の改築更新 ㉠ ㉢ × ㉡	污水管路の点検調査 ㉠ × ㉡
	污水处理施設の改築更新 ㉢ × ㉡	污水处理施設の集約化 ㉢ ㉠ × ㉡
	施設運転管理の高度化・DXの推進 ㉢ × ㉡	污水处理施設の分散化 ㉢ ㉠ × ㉡
	污水管路の耐震化 ㉢ × ㉡	脱炭素の推進 ㉢ × ㉡ ㉣
	污水处理場・ポンプ場の耐震化 ㉢ × ㉡	雨水渠等の点検調査 ㉠ × ㉡
	雨水渠等の重点的・集中的な整備 ㉠ × ㉡ ㉣	浸水被害軽減対策（水門・ハザードマップ） ㉠ × ㉡ ㉣
	雨水ポンプ場の改築更新と耐震化 ㉢ × ㉡	DXによる業務効率化 ㉠ × ㉡ ㉣
	雨水ポンプ場の耐水化 ㉢ × ㉡	官民連携の推進 ㉢ ㉠ ㉢ × ㉡
	浸水被害軽減対策（雨水貯留施設） ㉢ × ㉠	市民理解のための情報発信 ㉠ × ㉡
	III 差別化戦略（強み×脅威）	IV 自主的戦略（弱み×脅威）
脅 威	下水道BCPの継続的な見直し ㉢ ㉠ ㉢ × あ	GISデータの充実・蓄積 ㉢ × あ え
	広域化の検討 ㉢ × あ い う	水洗化の促進 ㉠ × い う
	市民理解のための情報発信（生涯学習） ㉠ × お	使用料収入の確保 ㉠ × い う
		技術継承・人材育成の推進 ㉢ × い
		人材確保の推進 ㉢ × い

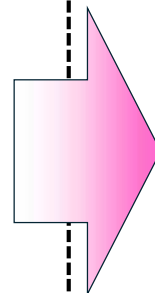
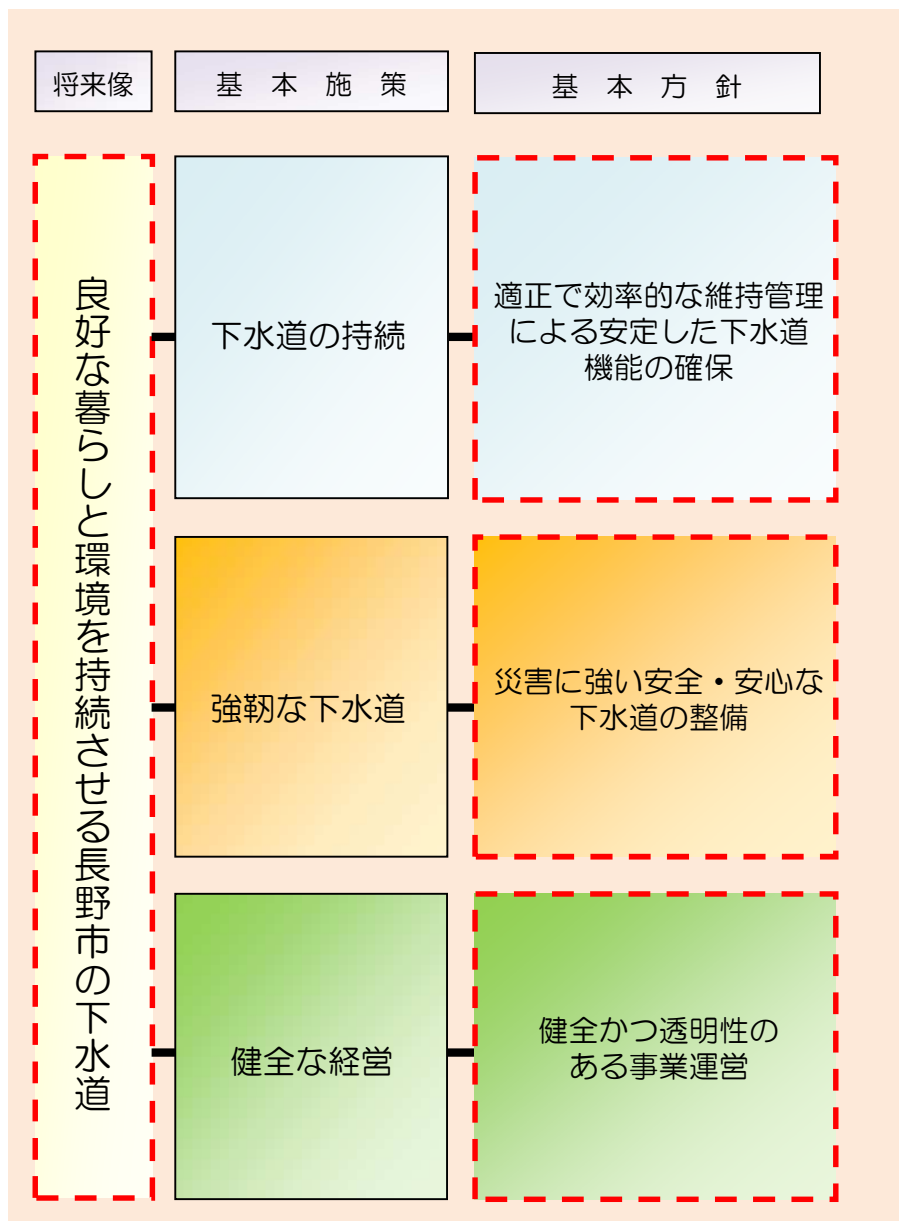
長野市下水道ビジョン・下水道事業経営戦略（素案） 主な改訂内容

3

現ビジョン

第5章 下水道事業の目指すべき方向性

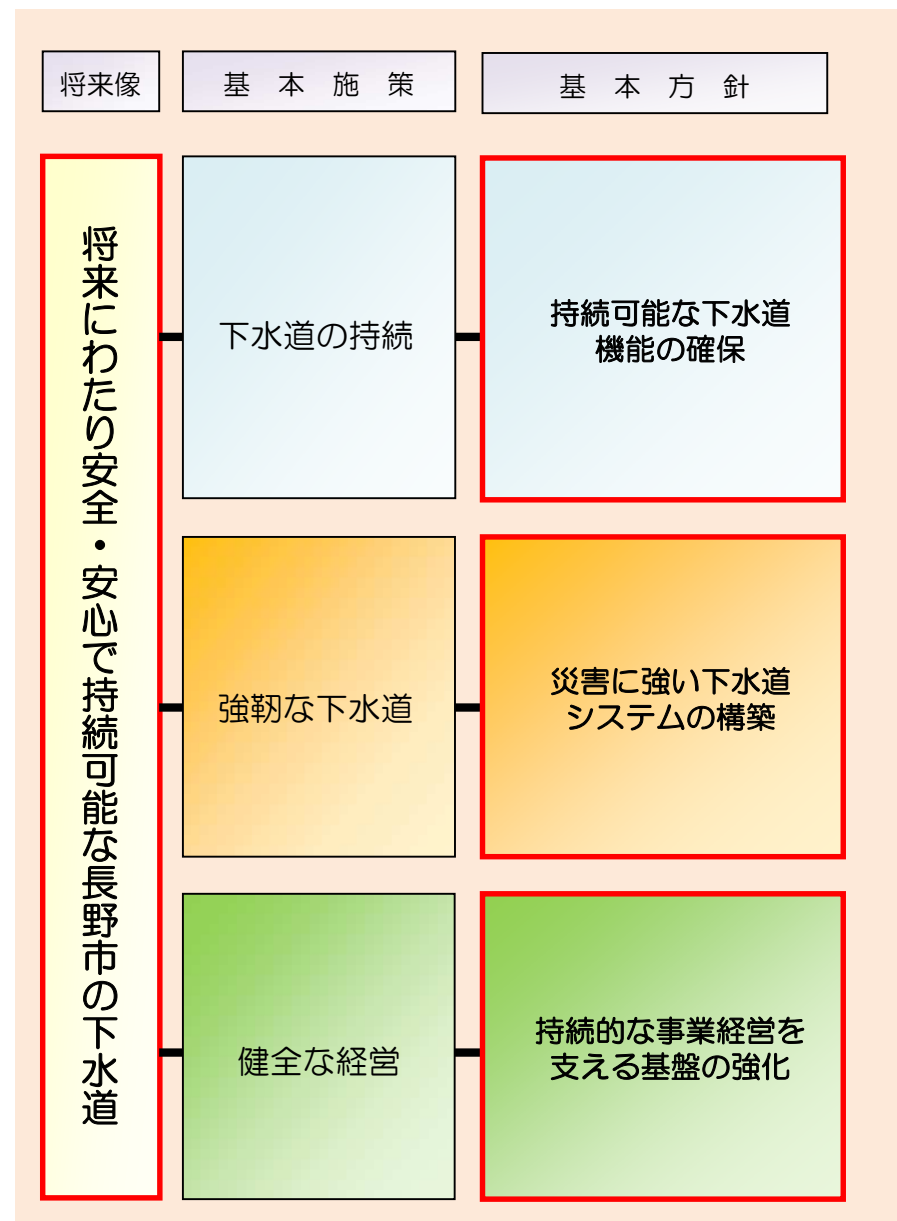
1 下水道事業の将来像



新ビジョン（素案）

第3章 将来像と方針

4 下水道事業の将来像・5 計画の体系



長野市下水道ビジョン・下水道事業経営戦略（素案） 主な改訂内容

4

現ビジョン

第5章 下水道事業の目指すべき方向性

1 下水道事業の将来像

新ビジョン（素案）

第3章 将来像と方針

4 下水道事業の将来像・5 計画の体系

	主要施策	実現方策
下水道の持続	施設の適正な管理	・管路の巡視点検と調査
	計画的な改築更新	・施設の改築更新 （管路施設、污水处理施設、雨水ポンプ場）
	下水道の普及・啓発	・未普及地域の早期解消 （公共下水道の整備、戸別浄化槽の整備、普及啓発活動の強化） ・情報発信・お客さまニーズの把握
強靱な下水道	施設の耐震化	・施設の耐震化の推進 （管路施設、污水处理施設、雨水ポンプ場）
	浸水対策	・雨水渠等の重点的・集中的な整備 ・官民一体による雨水流出抑制対策の促進
	防災・減災対策	・下水道BCPの強化 ・浸水被害軽減対策（水門遠隔操作システム 拡充、水位情報監視システム構築）
健全な経営	経営健全化	・持続的な経営 ・効率的な組織体制の構築 （民間活力の活用、人員の適正配置と人材育成） ・エネルギー効率の向上 （省エネルギー設備の導入、創エネルギー設備の導入）
	事業の効率化	・施設の統廃合の検討 ・下水道全国データベースの活用

	主要施策	実現方策
下水道の持続	施設の適正な管理	・污水管路の点検調査 ・GISデータの充実・蓄積
	計画的な改築更新	・污水管路の改築更新 ・処理施設の改築更新
	污水处理システムの最適化	・污水处理施設の集約化 ・污水处理施設の分散化
	新技術等の活用による維持管理の効率化	・施設運営管理の高度化・DX推進 ・脱炭素の推進
強靱な下水道	污水施設の耐震化	・污水管路の耐震化 ・污水处理場・ポンプ場の耐震化
	浸水対策の推進	・雨水渠等の重点的・集中的な整備 ・雨水渠等の点検調査 ・雨水ポンプ場の改築更新と耐震化 ・雨水ポンプ場の耐水化 ・浸水被害軽減対策
	災害時対応の強化	・下水道BCPの継続的な見直し
	健全財政の維持	・水洗化の促進 ・使用料収入の確保
健全な経営	組織運営の効率化	・技術継承・人材育成の推進 ・人材確保の推進 ・DXによる業務効率化
	連携の強化	・官民連携の推進 ・広域化の検討
	市民理解の促進	・市民理解のための情報発信